

令和 5 年 2 月 1 日

食農学類 高田大輔准教授がベトナム国における 果樹の生産性向上及び新規作目の栽培試験に関する連携を開始

福島大学食農学類 高田大輔准教授は、2022 年 11 月にベトナムを訪問し、ベトナム国における果樹栽培に関する生産性向上、コントウム省での新規作目の栽培試験に関して、連携を進める締結を行ないました。高田准教授は、国立農業遺伝学研究所 (AGI) ならびに THANH PHAT CONSTRUCTION 社 (ベトナム) との間で MOU* を締結し、ベトナムでのモモ、カキ、カンキツに関する生産の取り組みをサポートしていきます。加えて、フエ市にて、マンダリンのベトナム在来種の生産復興に関する意見交換を行うとともに、MOU の範疇で協働していきます。

※MOU (Memorandum of Understanding) :

契約や条約、協定などが正式に締結される前段階の合意文書、了解覚書

【これまでの活動】

高田准教授は、コロナ前まで、果樹の輸出調査として調査研究を実施していました。ベトナム国大使館等を通じて先方企業とのマッチングがあり、当地での生産の方向でも検討できないかということになりました。その後、2022 年 3 月頃から zoom 等での打ち合わせ、8 月にベトナム国機関、企業、県知事来訪などの対応を経て、11 月にベトナムを訪問 (生産拠点候補の訪問、既存果樹園 (柑橘) 圃場での栽培指導等) し、活動を続けてきました。

【MOU 締結の目的】

MOU の締結によりベトナムでの果樹生産の振興 (モモ、カキの新規開園)、柑橘園の病害調査やマップ化、生産拠点での品種適正や栽培方式の確立に関する研究のスムーズな遂行を目的としています。

【今後の活動】

柑橘、モモや柿生産の可能性を模索し、温暖化等の栽培環境解析を日本国内にフィードバックしていきます。



ベトナム果樹園における剪定指導を行う様子



カンキツの生産性向上のためのフエ市長・トゥア
ティエン＝フエ省副知事との会見の様子



ベトナム国立農業遺伝学研究所（AGI）ならびに THANH
PHAT CONSTRUCTION COMPANY LIMITED との MOU 締結の
様子（写真左：同所長と右：同社長）

（お問い合わせ先）
食農学類・准教授 高田 大輔
電話：024-503-4061
メール：dtakata@agri.fukushima-u.ac.jp